

# 湘南ふくしネットワーク オンブズマン

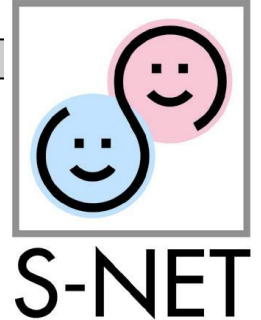
発行日 2003年10月15日 発行責任者 高山直樹

NPO 法人湘南ふくしネットワークオンブズマン

事務局 〒251-0871 神奈川県藤沢市善行 4-3742-4 電話・FAX 0466-81-9218

直通電話 090 - 4937 - 4904

ホームページ <http://www.npo-snet.com> eメール [info@npo-snet.com](mailto:info@npo-snet.com)



## オンブズマン提言

福祉サービス提供者の皆さんへ

権利擁護とか、本人主体とか、自己決定とか、第三者によるサービスチェックなどの言葉が語られるようになって、もう数年以上になりますが、まだまだ目を疑うような記事、耳を疑うような話があちこちで見聞されます。このような言葉を念仏のように口ずさむことで、それで何かを実行したような気持ちになっていないでしょうか。

もう一度、原点に戻って、よく考えてみてください。

暴力、暴言、プライバシー侵害について、何だかんだと理由をつけては正当化していませんか？ それは本当に、緊急でやむをえないケースでの暴力、暴言、プライバシー侵害ですか？

障害を持つ本人の声に耳を傾け、意思の表現に目を向ける、ということ、できる限り実行している、と自信を持って言えますか？ 優先順位はどうですか？

個別の福祉サービス利用者について、何が本人に必要で適している援助なのかをいつも考え、知識や技術を高める努力をしていますか？ プロとしての誇りを持っていますか？

平成 15 年 6 月 NPO 法人湘南ふくしネットワークオンブズマン



# 湘南ふくしネットワークオンブズマン 新人紹介

2003年4月からオンブズマンとして活動をはじめているメンバーを紹介します。岡崎清子さん、岡崎浩之さんは次号でご紹介します。



## 三谷 智百合 (みたにちゆり)

辻堂に住んで9年になります。初めて地域の中で、障害児のボランティアをしたことがきっかけで、社会福祉に関心を持ち、勉強を始め、昨年社会福祉士の資格を取得しました。

現在は保育ボランティア、青少年指導員、機能訓練ボランティア、障害者のガイドヘルパー、介護相談員と幼児から高齢者まで地域に根ざした活動を行っています。

昨年からはじめた介護相談員の勉強になるかと思いき、オンブズマン養成基礎研修を受講しました。利用者の権利を守ることがいかに大切かを勉強し、それがまだまだできていない現実を見て聴いて、オンブズマンとして、さらに何かできればと思いき、参加しました。

福祉の世界に飛び込んだばかりですが、よろしくをお願いします。



## 薩摩 章子 (さつまあきこ)

思い返すとずいぶん前から「福祉」の分野に関わっていました。子供の無認可保育所運動から始まり、児童養護施設の指導員、(10ヶ月で挫折)。

身障センター心理判定員。しばらくブランクがあつて茅ヶ崎で車椅子の方たちとマップづくり、そして、遠縁の叔母の介護に伴い老人介護の知識を得るため、ヘルパー2級をとり、叔母の保佐人、成年後見人、そしてこの4月に社会福祉士になりました。

一貫性はないものの、つかずはなれずそばにあった「福祉」。30年前の福祉と今とは制度面では変わっていても、人の受け止め方はそうは変わっていないように思います。

新しい考え方も出てきてはいますが、社会に浸透するには、どれだけのエネルギーと時間が必要でしょうか。

遅々とした歩みでも何もしないより、何かをし、考え、話し合いたいと思っています。



## 長谷場 和代 (はせばかずよ)

私はホームヘルパーとして10年、様々な利用者さんにお会いしました。高齢者の方が多かったのですが、いろいろ考える材料をいただいたのは障害者の方たちとのふれあいでした。「人権」なんて言葉にぶつかったのもそうでした。人は死ぬまで人らしく、私はわたしらしく・・・生活していきたいと願っています。それが、不可能な人がいるなんて思ってもいませんでした。では、どうすればよいのでしょうか？

そう考え初めて何年か過ごしてしまいました。私に出来ることは何か、模索を始めました。

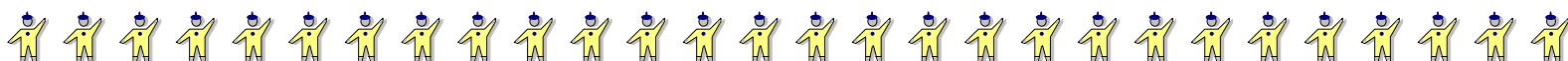
そんな時、高山先生の話聞く機会に恵まれました。内容はなんだったのか今は忘れてしまったのですが、「ヤッター」と思ったことだけ覚えています。そして、オンブズマンの研修までこぎつけ現在です。

どんな人たちも、その人らしく生活していけたらと思います。その為のお手伝いが、私なりのお手伝いができれば良いと思っています。まだまだ学ぶ事がたくさんあり、修行中の私です。いろいろお聞きしながら歩みたいと思いますのでよろしくお願い致します。



## 望月 隆之 (もちづきたかゆき)

この度、学生オンブズマンとしてネットに関わることになりました。相模原に住んでいます。現在、大学で社会福祉を専攻していますが、学んでいく中で、ずっと考えていることがあります。それは、人が社会福祉と向き合う時に、社会福祉の専門家としてサービスを与える立場か、もしくは、対象として社会福祉サービスを受ける立場のどちらかしかないのかということです。今まで見えにくかった関係性に、第三者的な立場の市民が関わっていくことは、ノーマライゼーションや共生社会を築いていくことに繋がるのではないかと思います。まずは社会福祉から、そしてこの輪を教育にまで広げていくことが私の夢です。若さゆえに至らないこと、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、精一杯がんばりたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。



# 活動報告

2003年度

## 総会が行われました

去る6月7日(土)に茅ヶ崎のコミュニティーセンターにて、湘南福祉オンブズマンの総会が行われました。総会は、理事とオンブズマンが向かいあい、NPO法人としての会計報告、また予算案などについて、活発な意見が取り交わされました。

また、6月21日(土)にはオンブズマンとSネット21の話し合いが行われました。日頃話し合う機会の少なくなってしまう現状への反省と、今後の活動、お互いの協働への期待を込めた意見が活発に取り交わされました。



そして、今後もこうした話し合いの場は、継続的に行う必要があることを確認し、閉会となりました。

## 第2回 オンブズマン基礎養成講座終了!

2003年7月10日(日曜日)～12日の3日間、上大岡にある横浜市保健福祉研修交流センター“ウィリング横浜”にて、オンブズマン養成基礎研修講座を開催いたしました。

前回は、茅ヶ崎を会場に一週間に1回のペースで8日間(最後の日は施設見学)という設定でしたが、今回は、施設見学は抜かして同じ内容18講座を3日間に詰め込み、宿泊施設も利用できるようにして、遠方からでも参加いただける形にしました。

受講者は16名、遠くは福岡からの参加もあり、ご自分がオンブズマンになるというだけでなく、地域にオンブズマン組織を立ち上げるためにということで参加された方も何人かいらっしゃり、熱気あふれる研修となりました。

講師には、高山理事長をはじめとするオンブズマン、Sネット21から(社福)湘南の風の稲木俊夫さん、(社福)翔の会から高橋健一さん、中村稔さん、松永徹さん、そしてオンブズマン協力員の佐藤伸さん、かながわ権利擁護相談センター

“あしすと”の森藤佳代さん、和泉短期大学の鈴木敏彦さんに、それぞれの専門分野、得意分野の講義をお願いしました。また、利用者の家族からということで浅羽昭子さんにオンブズマンを利用

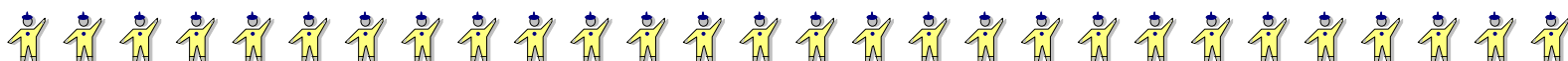
しての感想や期待について、障害者ご本人からということでグループホーム下宿屋の利用者である村上潤さんからはご自分の体験をお話いただきました。

初日には懇親会も開き、オンブズマン、講師、受講者の方々の交流も深め、権利擁護について熱く語り合いました。

私たちの講座から、オンブズマンが生まれ、それぞれの地域でご活躍いただければと願っております。また来年度も企画いたしますのでご興味のある方はどうぞご参加ください。



講義を行う高山理事長



## かながわ福祉オンブズパーソン実践交流集会 2003



去る9月23日（秋分の日）、かながわ福祉オンブズパーソン協議会準備委員会主催で、上記実践交流集会在、神奈川県社会福祉会館にて開催されました。

基調講演は、われらがSネット理事長高山直樹氏による、テーマ「オンブズマンの養成」で、オンブズマンの必要性和その働き、オンブズマンとして必要な資質、成熟した市民によるネットワークについて話されました。

基調講演に答える形で、「オンブズパーソン活動を通じて、どのように養成されてきたか」をテーマに2人のオンブズマンがそれぞれの体験、考え感じていることなど話されました。そのうちのお一人は、Sネットで創立期から昨年度までオンブズマンとして活躍されていた若山真理子さんでした。

午後からは、5つの分科会（「ネットワークをどのように運営していくか」「利用者の希望と親・施設の意向との衝突」「地域社会の中で生きるための援助」「重度の利用者のメッセージにどのように応えるか」「成年後見制度の活用の勧め」）に分かれ、意見交換がなされました。“エッそれで権利擁護になるの”という違和感を感じるような意見もありましたが、それぞれに経験を通じての意見交換がなされ、最後に全体会で報告があり、終了いたしました。

総合司会は、本人の会「希望の会」初代会長の水橋寛光さんとグループホーム下宿屋住人米田光晴さんでした。

かながわ福祉オンブズパーソン組織	連絡先
あおぞらマン	横浜市神奈川区沢渡 4-2 県知的障害施設団体連合会
横浜ふくしネットワーク（Yネット）	横浜市中区常磐町 4-47 ニューイナズマビル 302
横浜市在宅障害者援護協会 モニター委員会	横浜市港北区鳥山町 1752 横浜ラポール 3階
福祉ネットワークみやまえ	川崎市宮前区宮前郵便局私書箱 39号
【スペースつどい】オンブズパーソン	川崎市幸区小倉 1 1 8 2 - 1
横須賀・三浦地区知的障害児者施設オンブズパーソン活動	横須賀市長沢 4 - 1 3 - 1 県立三浦しらとり園内
湘南ふくしネットワークオンブズマン	藤沢市善行 4 - 3 7 4 2 - 4
厚木地区オンブズマンネットワーク	厚木市荻野 4835-1 秦野精華園内
厚木市高齢者施設オンブズパーソンネットワーク	厚木市下古沢 193 高齢者総合福祉サービスセンター森の里内
県央東地区オンブズパーソンネットワーク	大和市柳橋 5-3-16 ふきのとう向生舎内
神奈川身体障害福祉ネットワーク	秦野市菩提 1711-2 丹沢自律生活センター内
県西地区障害者施設権利擁護ネットワーク	小田原市沼代 865-1 よるべ沼代内
相模原地区オンブズパーソンネットワーク（準備中）	相模原市田名 5012-5 パステルファーム内

電話・ファックスでの連絡をされたい方は郵便で先にご連絡いただくか、Sネット事務局までお問い合わせください。

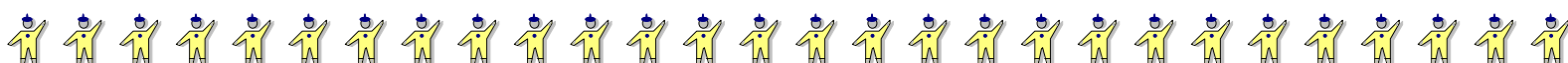
# 成年後見制度を考える

Vol.1

S ネットオンブズマン 大石 剛一郎（弁護士）

成年後見制度は、「私のことは私が決める」という大原則を大きく修正するものです。私の生活・人生を左右するような大事について、「本当のところ、私としてはどうしたらよいのか」を決めることができない、という「前提」のもとで利用される制度、と言っても過言ではありません。それでは、そのような「前提判断」を誰がするのでしょうか。そのような場面の「私」には、そのような「前提判断」ができるのでしょうか。つらつら考えると恐ろしくなります。私にとって何が良いのか、を一番良く知っているのは誰でしょうか。私自身でしょう。

そして、私が判断能力不十分になったときには、おそらく、一番身近にいる人でしょう。でも、私の一番身近な人は、私の無思慮な（？）行動（そういう状況なのだから、仕方がないでしょう？）によって最も迷惑をこうむる（又は、こうむっている）人でしょう。そんな人が私のことを決めるとしたら、何事にも制限だらけにしてしまわないでしょうか。また、私の一番身近な人は、私の利用可能な福祉サービスや必要な法的対応といったことについて、本当に的確に判断できるのでしょうか。その判断自体が面倒なので、手を抜いたりしないでしょうか。つらつら考えると頭が痛くなります。



# 地域生活支援研修講座のお知らせ

湘南ふくしネットワークオンブズマンでは、高齢の方や障害を持つ方々が、地域の中で自分らしく暮らしていくために必要な支援について考える、地域生活支援研修講座を開催いたします。

高齢者関係では、「施設内虐待の現状」、「大きな施設ではなく住まいとしてのグループホームの実践」の2講座を、障害者関係では、支援費制度になり、ますます必要とされる「ケアマネージメント」についてと、地域生活を豊かにする「余暇活動支援（ガイドヘルパー派遣事業）」についての2講座を用意いたしました。どうぞ奮ってご参加ください。

◆ 内容 （開催時間 各講座ともすべて 午後1時30分～4時）

番号・日時	内 容	講 師	場 所
① 2003年 11月24日	「誰が老人を救うのか」 ～高齢者施設内虐待の現実～	川越智子 氏 NPO オムツ減らし 研究会	茅ヶ崎市役所分庁舎 (JR茅ヶ崎駅北口 徒歩5分)
② 2003年 12月14日	「痴呆性高齢者の グループホームの実践から」	高井睦美 氏 NPO法人虹の会	茅ヶ崎市役所分庁舎
③ 2004年 1月12日	障害者のケアマネージメント (支援費制度に関連して) — 長野県から —	小林 彰 氏 上小地域療育等支援セ ンターSHAKE	茅ヶ崎市 市民ギャラリー (ネスパ茅ヶ崎内)
④ 2004年 1月25日	地域生活の中の余暇活動支援 (ガイドヘルパー派遣事業)	狩野晴子 氏 ゆめプロ(同愛会)	茅ヶ崎市 市民ギャラリー

◆ 参加費 一講座 2000円(賛助会員1800円)

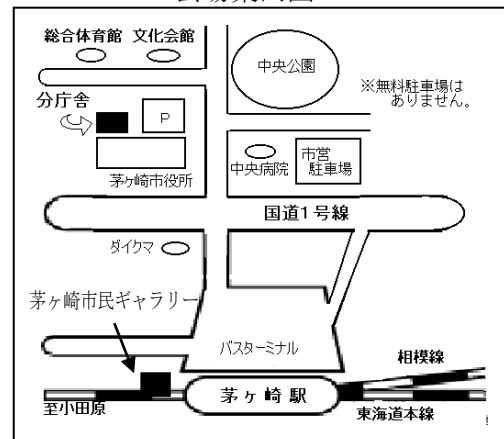
\* 支払方法等お申し込み後ご連絡致します。

◆ どなたでも参加できます。

◆ 申し込み方法

Fax 0466-81-9218(事務局:江崎)まで  
お名前・連絡先・参加希望講座番号を  
お知らせください  
先着 30名まで

会場案内図



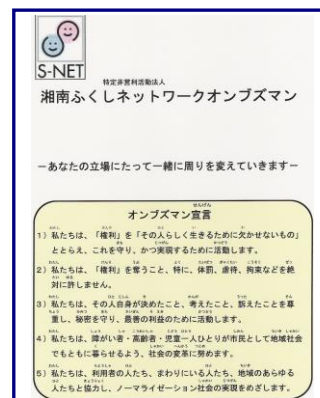
たくさんの方のご参加をお待ち  
申し上げます!



## 事務局便り

### パンフレットが完成しました！

去る 8 月によく待望の湘南ふくしネットワークオンブズマンのパンフレットが完成しました。A4版4pで、オンブズマンのロゴと、オンブズマン宣言を表紙に、わかりやすくオンブズマン活動について紹介してある内容です。ぜひ、今後このパンフレットを活用して、湘南ふくしネットワークオンブズマンへの一層のご理解にお役立てください。パンフレットのご請求などは、オンブズマン事務局まで、ご連絡ください。



### 賛助会員入会のお願い

私たち「湘南ふくしネットワークオンブズマン」は、施設や地域において福祉サービスを利用または必要とする人たちの権利を守り、その人が決めたその人らしい暮らしを実現するために活動しています。そのためには、地域の方たちとの協力が必要です。私たちの活動をご理解くださり、ご支援くださる方には、賛助会員としてご入会くださるようお願い申し上げます。

- ◇ 賛助会員会費・地域のみなさま（個人） 年額一口 1000 円 法人のみなさま 年額一口 5000 円（何口でも）
- ◇ ご入会いただきました方には、会報などをお送りする他、セミナー・研修会などに割引特典があります。
- ◇ ご入会方法 郵便振替振込書により下記口座へ会費をお振り込みください。
- ◇ 郵便振替口座番号 99210-9-75496 ◇ 口座名義人 NPO 法人 S ネットオンブズマン（特定非営利活動法人 湘南ふくしネットワークオンブズマンの略称です）

◇ 賛助会員にご参加くださった方（敬称略）〔法人会員〕神奈川青年司法書士協議会、県央東地区オンブズパーソンネットワーク、訪問介護サービス・居宅介護支援事業者湘南ひまわり、NPO 法人鎌倉ホームヘルプ協会ベルの会、拘束廃止研究所、社会福祉法人知恵の光会フロムワン福祉園、〔個人会員〕（鎌倉市）猪巻敏夫、久保田眞江、竹中広吉、戸口陽子、富田順一、林美代子、松田美代子、山崎信男、（平塚市）荒木一男、大蔵律子、（茅ヶ崎市）相田敬子、麻生光夫、阿彦君江、市川悠紀子、上杉桂子、梅田和彦、大木礼子、大畑良江、加藤勇、鐘ヶ江洋子、金子庸子、菊地トメ子、佐川光徳、澤田幾美、重岡健司、嶋田豊、清水洋一、神保菊江、勢渡澄江、高月雅子、高橋厚子、高橋登女恵、田部許子、田村保彦、鄭美佐子 寺田富久子、中嶋公子、中西拓子、永峯宏悦、新倉佳子、羽切信夫、橋本幸江、長谷川晴世、長谷川秀雄、端山輝男、平野三千代、松村市子、松本順子、八尋泰紀、山本奈央、山永妙子、渡邊保子、藁科裕子、（横浜市）市川雄一、大木佳美、太田孝、加藤敏、小玉加代子、小林信篤、財津匡、関貞夫、長野洋子、長谷川洋、深野千恵子、松島照美、増田逸郎、三田英彬、谷田部幸彦、山田四郎、（横須賀市）萩野谷洋子、多田政孝、堀俊、（藤沢市）小川桂子、金成和子、鈴木政子、高山由美子、矢嶋爽、（逗子市）宮本幸太、宮本すみ子、（小田原市）押田有美、（城山町）中山正代、（寒川町）村田桂子、（二宮町）嵯峨美穂、（東京都）池田恵理子、志田徳子、多田正二郎、長谷川恵子、福島誠一、持館浩、持館すが子、（川崎市）小松茂生、小嶋珠実、（相模原市）田代秀之、（愛知県）宮崎享一、（埼玉県）川田角夫、（静岡県）久保田信義、松田盛治、森光博、（千葉県）田丸洋介、（群馬県）金子房江、寺内玉枝

### 編集後記

- かながわ福祉オンブズパーソン実践交流会 2003 に私も参加しました。神奈川県内のオンブズパーソン活動に関わっている方々と悩みを共有でき、非常に有意義な一日でした。（藤本）
- 9月20日に青森県八戸の地域ネットワーク型オンブズマン組織「ハネット」の NPO 認証記念式典に出席してきました。S-NET の活動がひとつの呼び水になり、各地で積極的な取り組みが行われています。（相川）
- 今年も S ネットはさまざまな活動を行っています。ぜひ今後も多くの方に参加していただきたいと思います。（川越）

